

# 「いのち」の教育実践事例集



本県では、第6次山形県教育振興計画において、「人間力に満ちあふれ、山形の未来をひらく人づくり」を基本目標とし、その実現に向けた目指す人間像を、『いのち』をつなぐ人、「学び続ける人」、「地域とつながる人」と掲げ、学校・家庭・地域が一体となり、社会全体で「山形の教育」を展開しています。

『いのち』をつなぐ人とは、これまで本県が進めてきた「いのち」の教育の理念を継承し、更に発展させた考え方です。自分の存在や生き方を価値あるものとして大切にし、自分と同時に他者の生命や生き方を尊重する「いのち」の横糸を大切にすると、そして先人から祖父母、親、自分へと受け継がれてきた「生命（せいめい）」の縦糸を次の世代につないでいく人です。

現在、県内の学校においては、計画の趣旨に即した生命をつなぐ・生き方をつなぐ取組みや、「山形県人権教育推進方針」（H27 策定）を踏まえた取組み、道徳の教科化への対応など今日的な課題を捉えた実践が展開されています。

この「いのち」の教育実践事例集には、こうした県内各地での先進的・意欲的な取組みを掲載いたしますので、これからの実践を進める上での参考としていただければ幸いです。